

【資料1】

平成27年度 嬉野市立大草野小学校 学校評価計画

|   |
|---|
| 1 学校教育目標                                  |
| 「未来へかがやけ 蛍っ子！」<br>～笑顔いっぱい、生き生きと学び合う児童の育成～ |

総括的な教育目標を、より具体的な児童生徒や教師、学校の「姿」としてイメージする

|   |
|---|
| 2 学校経営ビジョン  |
| <<こんな子に>> ◎学び続ける子ども(学習) ◎思いやりのある子ども(特活) ◎たくましい子ども(保体) ◎やりとげる子ども(生活)<br><<こんな学校に>> ○子どもの歓声が響く学校 ○一人ひとりが生かされ大切にされる学校 ○地域に開かれた魅力ある学校<br><<こんな教師に>> ○子どもと共に歩む教師 ○使命感を持ち率先垂範する教師 ○地域や家庭との連携に取り組む教師<br><<こんな地域に>> ○我が子どもも地域の子ども ○学校と家庭の連携(協)育 ○益世会・PTA等との連携 ○幼保・中との連携<br>☆ 地域ぐるみで子育てを！「子どもは、家庭で躾けられ、学校で学び、地域で育つ。」 |

このうち、特に今年度力を入れるものを絞り込む.....絞り込むに当たって、特に、前年度、「何ができて、何ができなかったか」を参考にする

|  |   |
|--|---|
| 3 本年度の重点目標   | 4 前年度の成果と課題   |
| <b>I 学び続ける子どもの育成</b><br>(1)学習意欲を喚起する手立ての工夫<br>(2)思考力・表現力の育成<br>(3)読書教育の充実<br>(4)望ましい学習習慣と学習態度の育成<br><br><b>II 思いやりのある子どもの育成</b><br>(1)思いやりの心の育成<br>(2)自主的・自発的な態度の伸長<br>(3)特別支援教育の充実<br><br><b>III たくましい子どもの育成</b><br>(1)体育科学習の充実<br>(2)外遊びの奨励と定着<br>(3)健康的な生活の習慣化<br>(4)食育の推進<br><br><b>IV やりとげる子どもの育成</b><br>(1)当たり前のことが当たり前に行える指導の徹底<br>(2)危機回避能力の向上 | <b>&lt;成果&gt;</b><br>・一昨年度同様、学校目標でめざしている子どもを育成するために生活部、特活部、保体部、学力向上推進委員会で、教育活動を計画立案し全職員で取り組んだ。項目別評価表に児童・保護者・教職員アンケートの集計結果ポイントを表し、7月・12月の検討会では成果と課題が明確になり、進捗状況を把握しながら次への課題を明確にしてより具体的な改善策を見いだして実践化につなげることができた。<br>・年に2回学校評価を行い、学校運営のPDCAサイクルを機能させることができ、職員の参画意識が高まっている。<br>・学校関係者評価委員会では率直な意見をいただき、本校の取り組みについて再検討するよいきっかけとなっている。<br><br><b>&lt;課題&gt;</b><br>・各部会、推進委員会で具体的目標を達成するために具体的方策に取り組むことができたが、本年度もさらに子どもの実態に即した学校評価の計画を考えたい。<br>・教職員一人ひとりが学校目標の具現化をめざす参画意識を持ち、日々の教育活動について成果と課題を明確にする。教職員アンケートで、自己評価のポイントが向上しない項目では、一步前進して取り組む意欲が望まれる。<br>・学校関係者評価委員の方々に学校の様子を知らせるために、各種学校行事や授業参観に参加できる機会を増やしたい。 |

重点目標をそれぞれ再掲し、重点目標ごとに、成果や課題を具体的に評価するためには、どのような評価項目や指標を盛り込むべきかを考える

5 総括表


| ① やりとげる子ども(生活) 生活習慣の定着 |                    |                     |  |   |
|------------------------|--------------------|---------------------|--|---|
| 領域                     | 評価項目               | 評価の観点<br>(具体的評価項目)  | 具体的目標  | 具体的方策   |
| 教育活動                   | ○基本的な生活習慣の定着       | 奉仕・協力・勤労などの精神や態度の育成 | ・礼儀正しい児童を目指す。<br>(あいさつ・返事・言葉遣い・無言掃除・靴並べ・廊下歩行)  | ・あいさつや返事を上手にできる子をほめ、常に意識させる。<br>・掃除の手順や用具の使い方を指導し徹底させる。<br>・掃除強化月間を設け、全校で重点的に取り組む。  |
|                        | ○安全対策              | 危機管理及び安全対策の強化       | ・自分の身は自分で守るという意識を持つ児童を育てる。<br>・登下校のみならず、外出時の防犯ブザーの所持率を100%にする。<br>・交通ルールを守り、自転車の正しい乗り方ができるようにする。 | ・関連機関と連携し、不審者対応避難訓練や交通安全教室を実施する。<br>・学級活動、全校朝会等の機会を活用し、自転車の乗り方や身の安全を守る方法を指導する。<br>・登校時のPTAや交通指導員の立ち番、下校時の見守り隊との協体制を維持・継続する。 |
| 特定課題                   | ●小学校低学年の学習環境改善の充実  | 基本的な生活習慣、学習習慣の定着    | ・あいさつや返事が元気にできる児童90%を目指す。<br>・毎日宿題をきちんとできる児童90%を目指す。   | ・あいさつや返事を上手にできる子をほめ、常に意識させる。<br>・決まった量の宿題を出し、宿題はその日のうちに点検し返すようにする。<br>・保護者と連携し、協力を得て達成する。                                   |
| ② 思いやりのある子ども(特活) 心の育成  |                    |                     |  |   |
| 領域                     | 評価項目               | 評価の観点<br>(具体的評価項目)  | 具体的目標  | 具体的方策   |
| 教育活動                   | ●心の教育              | 思いやりの心の育成           | ・集会活動や縦割り班活動を通して、思いやりのある心、自己有用感を高める。   | ・学年や全校の場で出番をつくり、達成感を持たせる。<br>・縦割り班活動の推進によって、高学年のリーダー性と思いやりの心を育む。<br>・集会活動や学習発表会を通して、友だちのよさを認め合う。                            |
|                        | ●いじめの問題への対応 (学級経営) | 多くの目や手をかける学級経営      | ・一人一人のよさを認め合い、いじめのないクラスづくりを目指す。<br>・学級が孤立しないよう、同一歩調の指導を行い、「学校が楽しい」と言える児童95%を目指す。                 | ・自分や友だちを大切に、思いやりの心を育む学級活動や道徳の授業を大切に。<br>・いじめアンケートを毎月実施し教育相談週間を設定する。<br>・QUTテストを実施し、学級経営力を高める。                               |
|                        | ○特別支援教育            | 支援体制の確立             | ・特別支援教育に関する専門性を高めるために年に3回の校内研修を行う。<br>・支援を必要としている子を把握し、個に応じた支援を行う。                               | ・関係機関と連携し、専門の講師を招聘して職員研修を行う。<br>・児童一人一人の教育的ニーズを把握し、その持っている力を高めるため適切な指導及び必要な支援を行う。<br>・必要に応じて、個別の支援計画を作成する。                  |

③ たくましい子ども(保体)保健・体育

| 領域   | 評価項目                 | 評価の観点<br>(具体的評価項目)        | 具体的目標   | 具体的方策   |
|------|----------------------|---------------------------|---|---|
| 教育活動 | ●健康・体づくりの推進          | ・心身ともに健康な児童の育成            | ・体育科の授業の充実を図り、運動が好きな子どもを育てる。(県教委の「体力向上推進事業への参加」)<br>・遊び場の環境を工夫し、外遊びを奨励する。   | ・体育の授業づくりについて意見交換をする場を設ける。<br>・「ここにこタイム」や体育委員会の掲示板などを使って外遊びを紹介し、その遊びの楽しさを伝え、外で体を動かして遊ぶようにすすめる。<br>・一輪車週間やなわとび週間を設け、達成感や遊びの楽しさを体感させる。  |
|      | ○望ましい生活習慣の形成         | ・健康的な生活習慣の定着              | ・「早寝・早起き・朝ごはん」が習慣化できている児童を90%を目指す。<br>・年間を通して、立腰・手洗いうがい・歯みがき・帽子着用を実践し、自分で健康管理ができる。<br>・毎月1日に「ノーテレビ・ノーゲームデー」を実施し、実施率を90%以上にする。 | ・定期的に「蛭子カード」(生活点検表)を実施し、親子で生活習慣を見つめ直しながら、望ましい生活習慣の定着をはかる。<br>・手洗いうがい・歯みがきを習慣化し、感染症予防に努める。また、歯科校医・保健センターと連携し、歯科保健指導をすすめる。<br>・メディアの影響について知らせ、時間を決めて利用できるようにする。<br>・ノーテレビ・ノーゲームデーについては、家庭の状況に応じて実践する。保護者にも協力を呼びかけさせる。 |
|      | ○望ましい食習慣と食の自己管理能力の形成 | ・食事のマナーを守り、好き嫌いなく食べる児童の育成 | ・好き嫌いをしないでしっかり食べる。<br>・食器の持ち方や姿勢に気をつけて食べる。  | ・食育の授業や給食だより、給食委員会の発表などを通して、食の大切さを知らせる。<br>・5月・10月は、担任が実態を把握し、正しいマナーを身につけさせる。   |

④ 学び続ける子ども(学習) 学力向上

| 領域   | 評価項目        | 評価の観点<br>(具体的評価項目)         | 具体的目標   | 具体的方策   |
|------|-------------|----------------------------|---|---|
| 教育活動 | ○学習習慣の定着    | 基本的な学習習慣の定着                | ・話をしている相手を見て、最後まで聞くことができている児童90%を目指す。<br>・家庭学習も、怠けずに取り組んでいると答える保護者90%を目指す。      | ・話を聞く習慣づけの徹底指導<br>・「読む」「書く」「計算」の宿題を継続的に取り組む。<br>・「家庭学習の手引」「市学びの習慣づくり」等の保護者への配布・説明を行い学校・家庭が連携して取り組む。                             |
|      | ●学力の向上      | 算数科における思考力及び表現力を育てる指導方法の工夫 | ・算数科において、児童の思考力・表現力を高めるための授業づくりを通して、活用力を育てる。<br>・算数科の標準学力検査において、各学年全国平均以上を目指す。  | ・思考力・表現力を高めるような授業づくりを行う。<br>・児童の興味・関心・意欲を引き出すための教材の研究・開発を行う。<br>・児童の実態に応じた少人数指導・TT指導を充実させる。<br>・計算タイムや補充学習について級外も加わり、全職員で指導に臨む。 |
|      | ○読書指導       | 読書指導の推進                    | ・年間平均100冊(1～4年)、60冊(5、6年)の読書を達成する児童を各クラス90%以上を目指す。<br>・いろいろなジャンルの本に挑戦できる児童を増やす。 | ・100冊、60冊達成した児童を昼の放送で紹介する。<br>・教師や保護者ボランティアによる読み聞かせを実施するとともに、図書館祭りの機会を利用し、読書への意欲を喚起する。<br>・「親子読書回覧板」を実施し、家庭でも読書をするきっかけを与える。     |
|      | ●ICT活用教育の推進 | ICT活用教育指導の推進               | ・コンピュータや電子黒板、インターネット等を活用して、授業に主体的に取り組む児童を増やす。                                   | ・教職員がICTを活用した実践的な教育活動を行うことができるように職員研修の充実を図る。<br>・情報化推進リーダーを中心とした校内研修体制を整える。   |

 本年度の重点目標の評価項目として含まれていない共通評価項目がある場合に記入する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

| 領域   | 評価項目       | 評価の観点<br>(具体的評価項目) | 具体的目標   | 具体的方策  |
|------|------------|--------------------|---|--|
| 学校運営 | ○魅力ある学校づくり | 地域・保護者と連携した児童の育成   | ・地域人材を活用した体験的な学習活動を行い、豊かな心を育成する。<br>・地域関係団体、保護者等と連携して、基本的な生活習慣の徹底を行う。 | ・各学年に地域人材を生かした学習活動を教育課程に位置づけて実施する。<br>・地域関係団体との協議の場を設け、学校の教育活動について理解を求め、支援を要請する。<br>・地域・保護者との連携で、あいさつ等の基本的な生活習慣の徹底を図る。 |

●は共通評価項目、○は独自評価項目